

生体親和性を有する 新規水溶性ポルフィリンの開発

管理番号:E-082
PCT/JP2010/67530

課題

ポルフィリン誘導体は、生化学分野における蛍光色素や、医療分野における光線力学的療法（PDT）の光増感剤にも用いられており、水溶性を付与したポルフィリン誘導体が合成されている。しかしながら、これら誘導体はその製造が容易でない欠点がある。また、生化学分野や医療分野の用途を考慮すると、水溶性とともに脂溶性（油溶性）を兼備することが求められる。そこで、本発明は水溶性が向上したポルフィリン誘導体であって、水溶性と脂溶性を兼備したポルフィリン誘導体を提供することを課題とする。

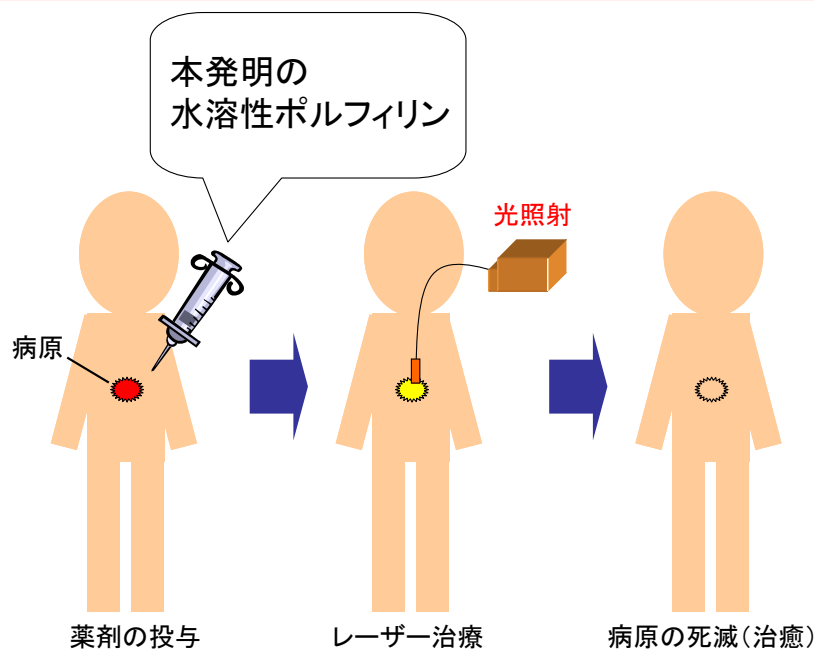
効果

本発明では、簡便な合成方法を用いて、ポルフィリン誘導体に水溶性とともに脂溶性を付与することができる。そのため、微生物や細胞などへの生体親和性が高いという特徴を有する。また、光による活性酸素（一重項酸素）の発生効率が高いことから、生体試料を用いた研究をはじめとして、医療分野（PDT用途）における光増感剤として好適に利用することができる。

利用分野

生命科学分野・生化学分野・医療分野

本発明の使用例：PDT療法（光線力学的療法）



連絡先

文部科学省・経済産業省承認
技術移転機関

株式会社みやざきTLO

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学産学・地域連携センター内
TEL: 0985-58-7942 FAX: 0985-58-7945
E-mail: info@miyazaki-tlo.jp
http://www.miyazaki-tlo.jp